



社会福祉法人まほろば 湊こども園 令和3年7月7日

先月は体調不良で休んでいるお友達が多かったのですが、元気に登園するようになり、明るい笑い声が聞こえ、可愛い笑顔が再びたくさん見られるようになりました。休んでいたお友達に会えるととても嬉しそうで、喜んでかけよっていました。

「〇〇ちゃん！」と名前を呼んだり、「〇〇くんは？」と探したり、友達に興味を持つ姿が見られます。「いっしょにあそぼう！」という声がクラスの中でたくさん聞こえるようになり、友達との関わりを楽しむようにもなってきました。またお話しすることも楽しんでいて、子どもたち同士でやりとりを楽しんでいる姿はとても可愛らしいです。

一緒に遊ぶ中で友達が持っている玩具がほしくて取ろうとしてしまったり、思いが通じず泣いてしまったり、手が出てしまうこともあります。そのような時は、保育者と一緒に「かして」と相手に伝えたり、「〇〇したかったんだね」と子どもの思いをまずは十分に受け止めたりするようにしています。

思いがぶつかってしまうことがまだまだありますが、その中で色々な経験をして友達と一緒に過ごす楽しさや充実感を感じながら、園生活を送ることができるようにしていきたいと思います。



戸外や室内で体を動かして遊ぶ機会を作るようにしています。平均台を渡るとき、ついつい手を貸してしまいそうになりますが「じぶんで！」と一人で渡り、渡りきったときは自信に満ちた表情を見せてくれます。「こわい・・・」と保育者の手を握って渡っていた子どもも、少しでも手を放して歩けることができると嬉しそうで、「もうっかい！」と何度も挑戦しています。

お部屋では曲に合わせて踊ることを楽しんでいます。『サンサンたいそう』『エビカニクス』は子どもたちも大好きで、ノリノリで踊っています。初めて聞く曲は「なんだろう？」と不思議そうにしながらも、保育者を見ながら真似て一緒に踊っています。体を動かすことを楽しんでいる子どもたちの表情はとてもいきいきとしています。

「からだを動かすのってたのしい！」と思えるよう、色々な遊びを取り入れていきたいと思っています。



\* すべての持ち物に名前を書いてください。